



プレスリリース

平成21年12月8日
内閣府
原子力政策担当室

第10回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合 の開催について

○内閣府（原子力委員会）は、12月16日（水）に東京、三田共用会議所（国際会議場（3階））にて「**第10回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合**」を開催いたします。

○FNCAは、平成11年に設立された、我が国主導でアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムです。（ホームページ：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）。FNCA大臣級会合は、アジア10か国の原子力担当大臣クラス（我が国からは菅直人副総理兼内閣府特命担当大臣（科学技術政策）が出席予定）が、原子力技術の平和利用に関する地域協力のために、年一回政策対話を行うものです。

○今次会合は10年目の記念会合であり、これまで10年間にわたり、農業・医療・工業の各分野での協力活動を積極的に推進し、社会経済効果の期待できる多くの成果を得てきたことを改めて認識するとともに、今後とも原子力の平和的利用促進のための協力を一層推進し、発電及び非発電の両分野における原子力平和利用促進のためのさらなる協力に関して議論を行う予定です。

1. 主催 内閣府（原子力委員会）

2. 開催日時 平成21年12月16日（水）

※15日（火）は上級行政官会合を開催（プレスオープンなし）

3. 開催場所 東京（三田共用会議所 国際会議室（3階））（地図別添）

4. 参加予定国及び機関

日本、オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

※1）日本からは、菅副総理の他に、近藤駿介原子力委員会委員長、田中俊一委員長代理、松田美夜子委員、伊藤隆彦委員、広瀬崇子委員、及び町末男FNCA日本コーディネーター等が出席する予定。

※2）本年12月1日に就任したIAEA（国際原子力機関）の天野事務局長からビデオメッセージを受領する予定。

5. 報道関係者の傍聴及び取材

報道関係者の傍聴及び取材は12月16日(水)の開会セッション(9:30~10:05)、及び同日の閉会セッション(16:30~17:00)のみ可能です。傍聴や取材、カメラ撮り等を希望される報道関係者は、傍聴席確保の必要上、開催前(12月14日(月)15時)までに、以下の問い合わせ先にご氏名、ご所属及びご連絡先をご登録下さい。

なお、傍聴は1社につき原則1名(撮影のために入場する報道関係者は除く。)とし、会議室への入室の際には、登録された本人であることが確認できるものを提示していただくとともに、社名入り腕章を着用して下さい。

[傍聴希望の受付:三田共用会議所 国際会議室(3階)前]

(問い合わせ先)

内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付 原子力担当
牧、山本、秋山

電話:03-3581-6690(直通)

03-5253-2111(内線44647)

FAX:03-3581-9828

(別添1)

第10回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合 会合プログラム案

平成21年12月16日(水)

●セッション1:開会(9:30~10:05)

- 1. 開会挨拶
- 2. 歓迎挨拶
- 3. 各国参加者紹介

セッション2:カントリーレポート

セッション3:FNCA 活動報告

セッション4:円卓討議(原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力)

セッション5:円卓討議(放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力)

セッション6:決議に関する討議

●セッション7:閉会セッション(16:30-17:00)

- 1. 決議確認
- 2. 次回開催国挨拶
- 3. 閉会挨拶
- 4. 共同記者会見

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合

海外参加者一覧

①オーストラリア

- 1) Dr. Ronald HUTCHINGS
オーストラリア原子力科学技術機構(ANSTO)専務理事代理

②バングラデシュ

- 1) Mr. Yeafesh OSMAN
バングラデシュ科学・情報・通信技術省(MOSICT)大臣
- 2) Dr. M. Mosharraf HOSSAIN
バングラデシュ原子力委員会(BAEC)委員長

③中 国

- 1) Mr. Qiufa CHEN
中国国家原子能機構(CAEA)主任
- 2) Mr. Baotong DONG
中国国家原子能機構(CAEA)系統工程司長
- 3) Mr. Wusheng ZHOU
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司長
- 4) Mr. Zhijian WU
中国国家原子能機構(CAEA)系統工程司
- 5) Mr. Xuanlin JIANG
中国国家原子能機構(CAEA)テクニカルサポートセンター長
- 6) Mr. Lanyi WANG
中国国家原子能機構(CAEA)総務部長
- 7) Mr. Bensheng XU
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司副司長
- 8) Dr. Gongbao SONG
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司処長
- 9) Mr. Senlin TU
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司プログラムオフィサー
- 10) Mr. Junxin ZHANG
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司プログラムオフィサー
- 11) Ms. Shaoping ZHANG
中国国家原子能機構(CAEA)国際合作司通訳

④インドネシア

- 1) Dr. Hudi HASTOWO
インドネシア原子力庁(BATAN)長官
- 2) Dr. Taswanda TARYO
インドネシア原子力庁(BATAN)次官(研究成果利用・原子力科学技術広報担当)

⑤ 韓 国

- 1) Mr. Sang-Mok LEE
韓国科学技術部副大臣
- 2) Mr. Poong-Woo HAN
韓国教育科学技術部原子力エネルギー一局原子力エネルギー協力課課長

⑥ マレーシア

- 1) Dr. Maximus Johnity ONGKILI
マレーシア科学技術革新省(MOSTI)大臣
- 2) Ms. Maria Bernard
マレーシア科学技術革新省(MOSTI)大臣秘書官
- 3) Dr. Daud MOHAMAD
マレーシア原子力庁(Nuclear Malaysia)長官
- 4) Dr. Muhd. Noor Muhd. YUNUS
マレーシア原子力庁(MINT)副長官(技術サービス)

⑦ フィリピン

- 1) Dr. Estrella F. ALABASTRO
フィリピン科学技術省(DOST)大臣
- 2) Dr. Corazon C. BERNIDO
フィリピン原子力研究所(PNRI)副所長

⑧ タ イ

- 1) Dr. Suchinda CHOTIPANICH
タイ科学技術省(MOST)事務次官
- 2) Dr. Somporn CHONGKUM
タイ原子力技術研究所(TINT)所長
- 3) Ms. Kanchalika DECHATES
タイ原子力技術研究所(TINT)国際協力部長

⑨ ベトナム

- 1) Dr. Tan Huu VUONG
ベトナム原子力エネルギー研究所(VAEI)所長
- 2) Ms. Ninh Thi Yen NGUYEN
ベトナム原子力エネルギー研究所(VAEI) 国際協力部上席専門職

(別添3)

アジア原子力協力フォーラム (FNCA: Forum for Nuclear Cooperation in Asia)の概要

1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することを目指す

2. 参加国

日本、オーストラリア、バングラデシュ、中国、フィリピン、インドネシア、韓国、マレーシア、タイ、ベトナムの10カ国(この他にIAEAがオブザーバー参加)

3. 経緯

原子力委員会が主催して開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一同に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

<原子力政策大綱における位置づけ(アジア諸国との協力部分)>

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。(略) これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム(FNCA)、IAEAのアジア原子力地域協力協定(RCA)といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

(参考)「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を各協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。

4. 枠組み

① 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

(開催実績)

- 第1回大臣級会合：平成12年11月(タイ)大島科学技術庁長官出席
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」
 - 第2回大臣級会合：平成13年11月(東京)尾身科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」
 - 第3回大臣級会合：平成14年10月(韓国)細田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」
 - 第4回大臣級会合：平成15年12月(沖縄)茂木科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」
「持続可能な発展と原子力エネルギー」
 - 第5回大臣級会合：平成16年12月(ベトナム)棚橋科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」
 - 第6回大臣級会合：平成17年12月(東京)松田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」
 - 第7回大臣級会合：平成18年11月(マレーシア)平沢内閣府副大臣出席
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」
「原子力エネルギーの広報」
 - 第8回大臣級会合：平成19年12月(東京)岸田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」
「放射線利用を中心としたFNCA活動」
 - 第9回大臣級会合：平成20年11月(フィリピン)増原内閣府副大臣出席
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」
「放射線利用のさらなる促進のための協力」
 - 第10回大臣級会合：平成21年12月(東京)菅科学技術政策担当大臣出席予定
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- ※第11回は中国がホスト、第12回は日本がホスト、第13回はインドネシアがホスト予定

② 「検討パネル」

平成16年から平成18年の3カ年「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル(第1フェーズ)を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。その結果を受け、第2フェーズとして平成19年から平成20年の2カ年「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1)原子力発電分野における人材養成、2)原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成20年11月にマニラで開催された第9回FNCA大臣級会合では、第3フェーズとして平成2

1年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

(開催実績)

■第1フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成16年10月 東京
- 第2回 パネル会合 平成18年1月 東京
- 第3回 パネル会合 平成18年11月 敦賀

■第2フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成19年10月 東京
テーマ:原子力発電分野における人材養成
議長:杉本 純

(独)日本原子力研究開発機構(JAEA)原子力研修センター長

→ フォローアップとして、「原子力発電のための人材養成データベース」をJAEAの委託で実施。平成21年4月から運用開始。

- 第2回 パネル会合 平成20年9月 東京
テーマ:原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について
議長:早田 邦久
原子力安全委員会委員

■第3フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成21年7月 東京
議長:伊藤 隆彦
原子力委員会委員、中部電力株式会社顧問
- 第2回 パネル会合 平成22年 韓国(開催予定)
- 第3回 パネル会合 平成23年 インドネシア(開催予定)

※平成21年3月の第10回FNCAコーディネーター会合で第3フェーズの設置要領について議論。

※パネルは4年目以降も継続することを前提とし、3カ年目の会合において議論の対象範囲と内容を改めて検討することとした。将来の会合開催地となることについて、中国及びタイから希望が示された。

③ コーディネーターとコーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男文部科学省参与。

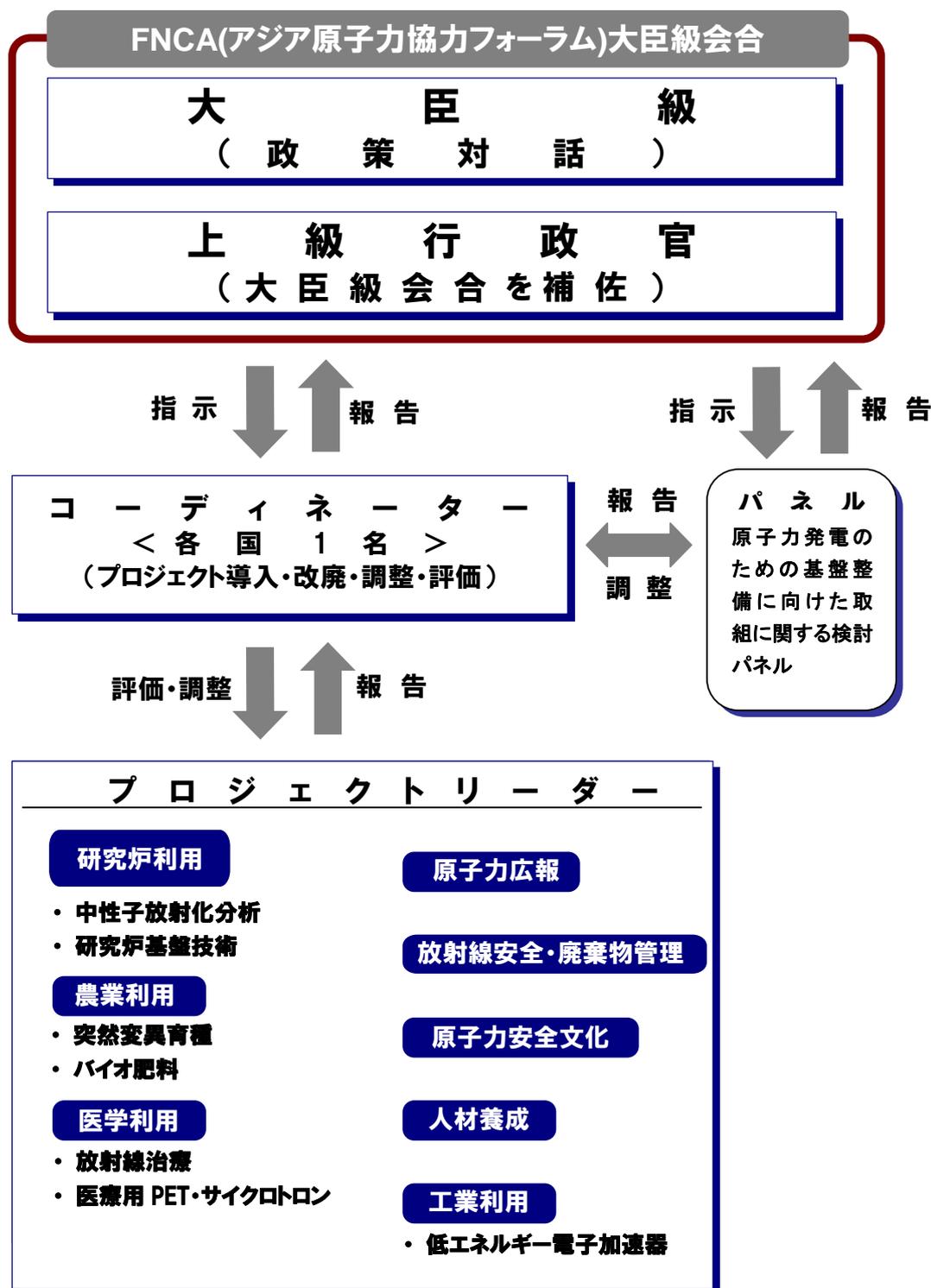
(開催実績)

- 第1回 コーディネーター会合 平成12年3月 東京
- 第2回 コーディネーター会合 平成13年3月 東京
- 第3回 コーディネーター会合 平成14年3月 東京
- 第4回 コーディネーター会合 平成15年3月 沖縄
- 第5回 コーディネーター会合 平成16年3月 東京
- 第6回 コーディネーター会合 平成17年3月 東京
- 第7回 コーディネーター会合 平成18年3月 東京
- 第8回 コーディネーター会合 平成19年2月 東京
- 第9回 コーディネーター会合 平成20年3月 東京
- 第10回 コーディネーター会合 平成21年3月 東京
- 第11回 コーディネーター会合 平成22年2～3月 東京(開催予定)

④ 個別プロジェクトについての協力活動

FNCAは、研究炉利用、農業利用、医学利用、原子力広報、放射線安全・廃棄物管理、原子力安全文化、人材養成、工業利用の8つの分野で11のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の枠組み



(別添4)

会場地図

場所:三田共用会議所 国際会議室(3階)

【交通手段】:(地下鉄)

東京メトロ 南北線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩5分

都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩9分

